

下丸子駅周辺地区まちづくり構想（素案）に対する パブリックコメント及び区民説明会等で寄せられたご意見について

<パブリックコメント>

【募集期間】 令和 5 年 1 月 13 日(金)～令和 5 年 2 月 2 日(木)

【募集方法】 窓口（鉄道・都市づくり課、下丸子図書館、各特別出張所）へ直接持参、電子申請、郵送及び FAX

<区民説明会、オープンハウス型説明会>

【開催日時】

区民説明会：令和 5 年 1 月 13 日(金) 18:30～20:00、令和 5 年 1 月 14 日(土) 10:30～12:00

オープンハウス型説明会：令和 5 年 1 月 14 日(土) 12:00～16:00

【開催場所】 大田区民プラザ 地下 1 階小ホール、展示室

【参加者数】 58 名

<意見総数> 42 名 102 件

分類	意見要旨（抜粋）
計画全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォークアブルなまちのコンセプトは良いが、写真やイメージ図だけで、地域がどのようなまちになるのかがわからない。具体的に、道路網の状況や土地利用の現況をどう変えていくのかを示した検討が必要。 ・下丸子らしさ、多摩川線沿線らしさを大切にしてほしい。 ・下丸子駅周辺地区は、目蒲線から切り離された感も残る多摩川沿いのまちの中心として、沿線住民が集える誇れるまちになることを願っている。 ・絵空事にならないよう、この構想で、全体のロードマップをわかりやすい図や絵にまとめるべき。
勉強会	<ul style="list-style-type: none"> ・「下丸子駅周辺地区まちづくり構想」に関して、広報などによる区民への周知が不足している。 ・できるだけ情報をオープンにしてほしい。 ・勉強会のメンバーに女性や専門家（防災や環境等）も必要ではないか。
歩行者空間	<ul style="list-style-type: none"> ・下丸子駅周辺地区のまちづくりにあたっては、歩道と自転車道の両立を考慮してほしい。
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・道路と鉄道の立体交差化の必要性の明示が要るのでは。⇒P.25 に反映 ・下丸子駅周辺地区にコミュニティバス「たまちゃんバス」はあるが、運用回数が少なく、場所も不便なので利用しにくい。 ・20 年後と言わず、今からできそうなことはやるべき。
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・下丸子駅周辺地区のまちづくりにおいては、集客力のある図書館や民間商業施設などをキータンとし、人が集まる仕組みや、また、集まった人々をつなぐ仕組みが必要。 ・幼児から高齢者まで気軽に自由に休めるような地域の交流施設が必要。
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・下丸子駅周辺地区のまちの将来像の実現のためのテーマ「防災の備えがなされている安心・安全なまちづくり」について、東京直下型地震に備える「減災」対策を進めてほしい。
自然・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・下丸子駅について、多摩川の青や緑の色を使った瓦屋根を使う等、個性を出した駅舎にしてほしい。 ・人が集えるような広場やベンチ、石畳を敷く等、景観を整えてほしい。⇒P.18、P.22 に反映
工業	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間人口よりも昼間人口の方が多い傾向にあるとの記載があるが、キャノン株式会社の本社が立地していることが大きく寄与しているものと考えられる。連携が必要。
商業	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの担い手として重要な役割を果たしているのは商店街なので、商店街振興の観点をに入れてほしい。⇒P.19、P.26、P.29 に反映
新空港線	<ul style="list-style-type: none"> ・新空港線（蒲蒲線）の必要性を説明してほしい。